

	氏名	大学:学年	学部	志望の職業	
1	女性	東北大学 1年	経済学部	経営 コンサルタント	先輩方のお話は、自分がまだ想像もついていない次元の話ではありましたが、自分の将来のビジョンにも多少繋がる場所があり、とても刺激的なものでした。特に情報交換会では同じ大学の先輩の回答をいただけたことも相まって、大変参考になりました。これからの大学生活では、目標を見失わず、やろうと思ったこと、好きなことにはどんどんチャレンジして行きたいと心から感じました。来年もぜひ開いていただきたいです。人生のご教示をいただけたような気がして大変満足したものになりました。本当にありがとうございました。
2	男性	岩手大学 3年	理工学部	高分子化合物 研究	今回は私自身はじめての対面での交流会でしたがオンラインだった去年とは違い、みんなの顔をちゃんと見ることができてよかったです。あと、やはり対面での自己紹介や意見交流はとても緊張しました。でも自分的には言いたいことを言い切ったので満足してます。また、みんなの意見や悩んでも自分と共感できることが多く非常に有意義な時間でした。また、ISEのミニコンサートは3人とも非常に演奏力が高く感動しました。本当に楽しいひとときでした。最後に、来年もし機会があれば是非とも交流会に参加したいと思います。本当に今回はありがとうございました！
3	女性	北海道 大学 2年	経済学部	経営 コンサルタント	名古屋先輩の激励では、身が引き締まりました。好きなものをとことんやる。この言葉は、今までの大学生活を振り返るきっかけとなりました。今まで、ファイナンシャルプランナーの勉強やTOEICの勉強を自主的に行ってきたのですが、好きなものをとことんやってきたかと言われれば自信を持って答えることが出来ないと考えました。名古屋先輩は、ずっと大好きだった航空機関連の企業に内定を頂いたとお聞きして尊敬しました。好きなものを仕事にできるなんてこんなに凄いことは無いと思いました。名古屋先輩を見習い、とことんやるとはどういうことか？ということについて考え、実行していきたいと思います。 川上先生は、おもに野球を軸としてお話されていましたが、スポーツの分野でも、学問の分野でも、常識を疑い、答えを発見する努力を続けることこそが、現代で活躍するために不可欠な力だと思いました。また、ユニバースの社訓にある、『出来ない理由を見つけようとせず、できる方法を見出す努力をすること』では、渡辺和子さんが書かれた「置かれた場所で咲きなさい」という本を思い出しました。私が大好きな本のうちの1冊です。その中の一節『置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。咲けない時は、根を下へ下へ降ろしましょう。』という言葉に通じる部分があるのだと思いました。 『凡事徹底』のすすめ、ということで、沖縄興南高校の我喜屋監督のお話もありましたが、私の高校時代の恩師にも、凡事徹底と教えていただいたことがあったため、初心に戻る気持ちで、身が引き締まりました。 八戸市長のお話では、「共感と対話」この言葉が最も印象に残りました。これは市長のお人柄が表れている言葉だと感じました。人と潤滑にコミュニケーションを取る上で「共感と対話」この言葉なくしては達成できません。また、東日本大震災の被害者のお話を聞いてまわられて、あれほど政治が頼られた場面は無いというお話もありました。これも、市長の「共感と対話」の姿勢が現れた結果だと感じました。奨学生の質問にも丁寧に答えて下さり、なかなかない貴重な経験で本当に光栄です。 ミニコンサートでは、ISEの皆さんが素敵なお演奏を披露してくださり最高でした。ヴァイオリンソナタの第5番スプリングソナタは私の好きな曲のうちのひとつでもあったので、聞いていて心が洗われる思いでした。 また、質問コーナーでは、大学生活の素朴な疑問から、人生の相談まで、多種多様な質問があり、勉強になりました。 最後に日本語で最も美しい言葉「ありがとう」を、この交流会に携わったすべての方々に御礼として申し上げたいと存じます。 誠にありがとうございました。
4	女性	弘前大学 2年	理工学部 機械科学科	医療機器 開発	先日は交流会を開いていただき、ありがとうございました。名古屋さんや他の奨学生の先輩方から、勉強で何か好きなことを見つけそれを伸ばすようにすると自分の武器になるということがわかり、将来に対する不安が少し無くなりました。 川上先生のご講演からは、新たな時代を生きるには常識を疑うことが大事だとわかり、最近読んだ本と共通することがあり、これからの対する考え方を改めようと思いました。 熊谷市長のご講演からは、目の前の課題を片付けることで漠然とした不安がなくなっていく、ということが印象的でした。 演奏会はとても楽しく聴かせていただきました。バイオリンやピアノなどの音楽に触れる機会が少なくなってきたので、来年の交流会でもこのような演奏会があれば楽しそうだなと思いました。先輩に対する質疑応答では、他の方も就職や大学院について質問していたので、多角的な視点からの意見を聞くことができてとてもよかったです。
5	男性	岩手大学 2年	人文社会 学部	地方 公務員	昨日は、非常に意義のある奨学生交流会に参加でき、とても嬉しかったです。 八戸市長との直々の意見交換の場を拝見したり、他の奨学生の方からの学業におけるアドバイスを頂いたり、更にバイオリンとピアノの素晴らしい演奏を拝聴することが出来たりと、普段の生活では経験できないようなとても貴重な体験を積むことができたと考えています。 個人的には、自分の質問に対し、先輩から具体的な助言を頂けたことが特に嬉しかったです。優秀な先輩からの、自身の体験から得た考えというのはとても分かりやすく、かつこれからの学校生活に活かしていくことが出来るからです。 また、多くの方の素晴らしく洗練されたスピーチ、意見交換などを通して、誰もが自身の未来に対して明確なビジョンを持ち、そのために様々なことを考え行動に移していることを実感しました。そして、私ももっと将来のことをよく考え、主体的に行動していこうという気持ちを刺激されました。まだまだ未熟ですが、「地元をより住み良い街にする」という目標のために、色々なことを学んでいきます。

6	男性	東京大学 3年	理科一類	大学研究機関 マッチング業	先日の交流会では、環境を異にする多くの方のお話を伺うことができ、非常に刺激的な体験をできたと感じています。 熊谷市長を含め多くの方がお話しされていた、「視野を広く持つことの大切さ」と「現代は明確な答えが少ない時代であること」の二点が特に印象に残りました。 その中でも前者については、教養学部から機械工学科に進学し、ともすれば学ぶ分野の幅が狭くなりかねない私にとって、常に意識するべきであると思います。 また、熊谷市長とお話しできたことも非常に印象に残っています。 政治・社会に携わる方からこれほど深くお話を伺うことができた経験はとても貴重なものだと思います。 政治家としての原点や日々意識していることなど、お話の内容も興味深く、今思い返してみても質問したいことが複数生まれています。
7	男性	東京大学 3年	文科二類	大学教授 統計学	交流会のご報告を受けまして、参加したかったと、とても羨ましく思い、自分も海外から近況報告させていただきます。 (イギリス、マンチェスターでの交換留学に向けて、事前にベルリンで短期留学中) ご連絡していなかったかもしれませんが、自分は今、9月から始まるマンチェスターでの交換留学の前に、同じく東京大学のプログラムとしてドイツのベルリンで短期留学をしております。初めてのヨーロッパ訪問で、まさに絵に描いたような歴史ある街並みを眺め、非日常感に浸っております。海外大学のキャンパスを歩き、ここで学ぶことを想像し、大学院は海外に行きたいという思いを持ちました。ベルリンは美術館が多く、ご飯も美味しく、新しい暮らしに日々心を躍らせています。 短期留学が終わった後は、ドイツを一周することを考えています。
8	男性	弘前大学 4年	医学部	医師	コロナの第七波が猛威を奮っている中の開催は勇気のある判断だったと思いますが、無事開催できたことに意味があると感じました。来年以降につながる一歩になったと確信しております。 交流会は限られた時間の中、記念講演、近況報告、ミニコンサート、質疑応答、晴山さんの教訓など充実した時間だったと思います。お弁当も美味しくいただきました。 本日皆さんからいただいた刺激に負けずに週明けには弘前に戻り試験ラッシュを頑張りたいと思います。
9	女性	弘前大学 5年	医学部	医師	ここまでの準備、大変なこともおありだったと思います。事務局のおかげで例年よりグレードアップした会になりとても楽しめましたし、市長とお話する貴重な機会も頂いて、本当に感謝です。ありがとうございます。 それから、お弁当がとても豪華でしかも美味しくて、感動しました。心もお腹も満たされました。 岩手大学の川上先生のお話や奨学生の近況を聞いて、今日からまた頑張ろうという活力が湧きました。その活力をもとに、今から机に向かって国家試験の勉強をします。
10	名古屋 雄大 (先輩激励)	東北大学 大学院 2年	工学部 機械知能 航空工学科	JAL 日本航空 就職決定	コロナ禍ながらこうして開催できたこと、私もうれしく思います。 私は3年ぶりの参加で、当時1年生だった奨学生の皆さんが4年生になり、進路を決めたと考えたと時の流れは早いと感じました。 同時に皆さんの成長を近況報告から感じ、私自身も大きな刺激を受けました。 本日激励の言葉を務めさせていただきましたが、コロナもあり久しぶりの対面でのスピーチは緊張しました。その中でもスピーチしている間の皆さんの真剣な眼差しが印象に残っています。皆さんの心の中に少しでも印象に残っていたらと思います。スピーチは今振り返るととても楽しかったです。 続いて招待いただいた身ながら、学生として改善点をお伝えさせていただきます。 と申し上げましても、ほとんど改善点がないほど、内容が詰まっており、コロナ対策もされ、満足できる内容だと思います。本当にご準備ありがとうございました。 1点だけ奨学生の情報交換会について、質問に対する先輩の回答は、先輩が答えたい質問を選んだり当日追加で答えたい人がいたら振るなどしてもいいかなと思います。というのも就職活動、大学生活の問に対し、一人の先輩からアドバイスいただけるのは貴重な機会ですが、答えが無数だからこそ様々な人の答えを聞くほうが楽しいのではないかと思います。また、回答する先輩側も自分が自信ある分野で回答を発信できるほうが、よりよい答えが返ってくると思います。 ちなみに私もこれこれ答えたいなという質問も多くありました。きっと役員の皆様や回答権は振られてない人も答えたかった質問は多くあると思います。 昨年実行されたオンラインのブレイクアウトルームや対面での食事会のように自由に意見交換の時間がなかったのは少しもったいなかったと思います。 ⇒ 質問に対する回答やアドバイスには、多様性が求められます。名古屋さんのご指摘の通りです。次回以降、回答を一人と限定せず、柔軟性を持たせます。時間配分もフレキシブルに対応して参ります。(事務局)
11	渡辺 康正 (選考委員としてご出席)	野村證券			参加された理事・評議員・選考委員の方々は勿論の事、奨学生の皆さんも非常に明るいお顔で交流会を後にされており、十二分に満足されたのではないかと拝察する次第です。 ここまでのご準備は大変だったと思いますが、本当に素晴らしい催しでした。 9月には別の“一大イベント”も控えていらっしゃるようですが、お身体ご自愛いただき無事乗り切られますことを祈念しております。

12	川上 圭一 (評議員としてご出席)	岩手大学 教育学部 教育学 研究科 (教職大学院) 特命教授		交流会に参加の機会を得て、数々の驚きと感動にも出会いました。 1 岩手大学の学生との交流 私は大学院しか担当しておりませんので、基本的に学部生とは交流が皆無です。 唯一の機会が、教員試験採用セミナーでの指導です。なんとT.K君は私の担当に当たっていました。 また、県吹奏楽連盟会長に就任したことから、アンサンブルの方との縁もありました。 さらに岩泉町出身のN.A君のお父さんは私の初任校の教え子かもしれません。 いずれにしろ、初めて教壇に立ったのが岩泉ですので縁を感じました。 2 岩手をはじめ地元貢献したいという学生の熱い思い 名古屋さんのように文字どおりJALに入社して世界に羽ばたこうという方もいました。 一方では、確固たる信念を持ち、地元岩手・青森に貢献したいという学生の思いを知り頼もしく嬉しい限りです。 盛岡一高の生徒がそうであるように、高校卒業を機に、地元以外の大学に学びの機会を求め、 卒業後に地元に戻る生徒は決して多くはありません。 いま私は大学院ではなく故郷を愛す人＞を育むにはどうしたらよいかと初等教育に携わる院生に問うています。 自分自身明確な答えを持ち得ていないのですが、院生とともに考え続けたいと思っています。 3 人の縁 東大のTK.K君は、おそらく私が校長として盛岡一高入学を許可した生徒です。 もっと詳しく聴けば別の縁もあるかもしれません。 また、私の席の左隣の方は、私の大学どころか学部の先輩であることがわかりました。 ありがたいことでした。人の縁は大切にしたいものと痛感しています。 貴会の交流会開催に至るまでのご苦勞を拝察し、心から敬意を表します。 コロナ対応の抗原キッドまでご準備されての開催には頭が下がりました。 また、交流会当日の様々なご配慮にも感謝申し上げます。 私は、＜一期一会＞の講演の機会を頂戴し、大変光榮であり、ありがたい機会を頂戴しました。 心から感謝申し上げます。
----	----------------------	---	--	---